

# 地域インターンシップ A

2025 年度 事前ガイダンス資料（配布用シラバス）

---

## 授業概要

---

この授業では、自治体や公的機関、NPO・NGO、地域コミュニティ、ボランティア組織、大学など、地域社会を支えるさまざまな主体の活動を実際に体験することを通じて、社会人としての基礎力を高めることを目的とします。具体的には、自発的・自主的に地域社会活動に参加し、その体験で得た経験や知識、体験した活動の社会的な意義、そして体験が自身をどのように成長させたかなどを分析・評価し、それを第三者に伝えるという一連の過程により、目的の達成を目指します。

さまざまな地域社会活動への参画を中心とするこの授業は、本学科の教育目標である、「現代社会が抱える諸問題の解決に向け、グローバルからローカルに至る様々なところで他者とともに行動する能力を身につけること」の達成に向けた重要な一歩となります。

---

## 到達目標

---

この授業では、授業終了時に以下の 3 点に到達することを目標とします。

1. 自発的・主体的に実習に参加し、積極的に活動できる。
2. 地域社会を支えるさまざまな主体の現状やそれらが抱えている課題を説明できる。
3. 活動の趣旨や意義を踏まえて、自らがどのように活動したか、どのように貢献したかをプレゼンテーションで発表し、活動報告書を作成できる。

---

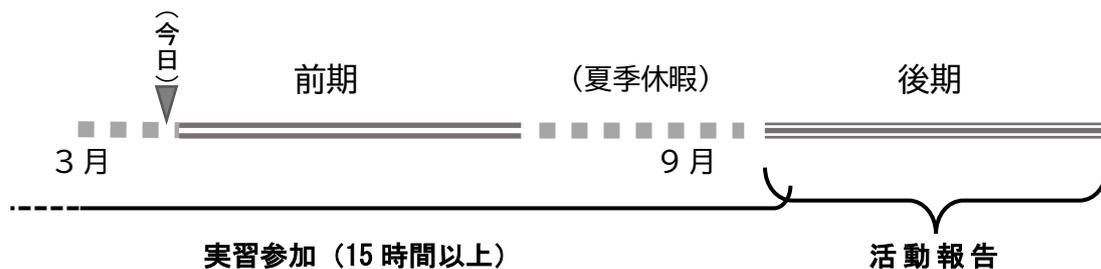
## 授業の進め方

---

### 【授業全体】

後期開講科目であるこの授業は、自主的・主体的な 15 時間以上の実習参加と、その体験にもとづく 2 種類の「活動報告」を中心としています。

そのため、原則として開講期間にはすでに実習を経ていることが前提となります。履修者は前期間に、つまりこの授業が始まる 9 月末までに、少なくとも実習での活動を概ね（8 割程度）終えていることが望ましいです。この点を踏まえて計画的に実習を行ってください。



---

## 【各授業回】

初回授業を除いて、各授業回では活動報告のプレゼンテーション発表を行います。

各授業回ではコミュニケーションペーパーを配布し、プレゼンテーションの感想・コメント・質問等を記入のうえ提出します。発表はオンラインでの予約制とします。具体的な発表予約の方法は初回授業で説明します。なお、全授業回中に発表ができなかった場合、活動の実施如何に関わらず特段の配慮はありませんので注意すること。

---

## 履修上の注意点

実習先の選定は履修者自身で行います。履修者自身で実習先に実習のお願いをし、必ずアポイントメントを取ってください。また、実習には積極的かつ誠実に参加し、実際に活動した日時等詳細は必ず記録すること。

なお、今年度より、**全学共通科目の「地域貢献活動」と同一のボランティア活動での重複を認めます。**「地域貢献活動」は本授業と同様に地域でのボランティア活動を単位認定の要件としていますので、実際の活動次第では、1つのボランティア活動で2つの授業の単位が取得できます。この機会を是非活用してください。同授業の詳細は教育支援課（共通教育担当）に確認してください。

---

## 学習上の助言

江別市内4大学をはじめとする市内関係団体（11団体）と道内の8つの自治体が参画する、**学生地域定着推進広域連携協議会「ジモ×ガク」**は、地域活動やボランティアを紹介しています。

また、本学の**キャンパスサポートセンター**（担当事務局：学生支援課学生支援係）は、パソコンテイクをはじめとした、障がいをもつ学生に対する学習支援を行っています。

そのほか、江別市に限らず、さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぼ」の掲載先や、他の自治体の公的機関、NPO・NGO、地域コミュニティ、ボランティア組織など、地域社会を支える主体であれば問題ありません。例えば、札幌刑務所などでもインターンシップの募集があります。あるいは複数の実習先や、複数回の実習活動を組み合わせても構いません（単位認定の対象となる活動は後述の通り）。

---

## 成績評価および単位認定について

下記の3点の成績から総合的に評価する。各項目の詳細は後述の通りとする。

なお、3点のうちいずれか1つでも怠った場合には単位認定が行われません。

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 地域社会活動への参加（15時間以上） | 20% |
| ② 活動内容のプレゼンテーション     | 40% |
| ③ 活動報告書（最終レポート）      | 40% |

（合計 100%）

---

## ① インターンシップ活動

前年度 2 月から授業履修年度 1 月までの間で、合計で 15 時間以上の地域社会活動の実施を義務付けます。単位認定の対象となる活動は下記の通りです。なお、企業等の営利組織での活動、宗教団体等での宗教的活動、政党又は後援会事務所等での政治的活動、および、その他本授業の趣旨に沿わない活動は原則対象外とします。活動が対象となるかが不明な場合には担当教員に相談して下さい。

### I. 地域社会を支える無償の活動全般

### II. 次の活動に限り、有償だが対象とする

- i. 本学サポートセンターの支援学生制度にもとづく、障がいをもつ学生のパソコンテイクや介助等の活動
- ii. オープンキャンパスでの模擬裁判（模擬裁判担当教員の依頼による）
- iii. 学生消防団員の活動

---

## ② 活動内容のプレゼンテーション

活動内容に関するプレゼンテーションを授業内で実施することを義務付けます。プレゼンテーションに際しては、発表用スライドを事前に担当教員へ提出し、それにもとづいて行います。具体的な発表の内容や発表時間等については初回授業で改めて指示します。

発表項目や発表時間などの要件を守れているか、参加した活動の趣旨・意義および実際の活動内容について第三者にも分かりやすく説明できているか、活動を通じて学んだ地域社会の課題がどのようなものを理解しているか、などの点から評価します。

---

## ③ 活動報告書(最終レポート)

活動内容に関する活動報告書（最終レポート）の提出を義務付けます。報告書の内容や提出方法等については初回授業で改めて指示します。

活動報告書の体裁や書式を守れているか、参加した活動の趣旨や意義を分かりやすくまとめているか、活動を通じて学んだ地域社会の課題や求められる解決策を自らの言葉で論理的に説明できているか、そして地域社会活動のあり方についての考えを具体的に述べているか、などの点から評価します。

---

## クラス内の方針

### 【合理的配慮を要する事情を有する学生の学習支援】

何らかの合理的配慮を要する事情のある学生については、本学の基本方針に基づき、地域社会活動、活動報告書の作成および活動内容のプレゼンテーションを支援できるような授業方法等について検討し、対応します。支援を希望する場合には、担当教員に連絡してください。

---

## 担当教員

氏 名 堀池 航洋 (ホリイケ コウヨウ)  
 専門分野 行政学  
 Email アドレス horii-k@e.sgu.ac.jp  
 個人研究室 A号館5階 502  
 オフィスアワー 火曜日・水曜日 12:20-13:00 (要事前連絡)

授業のスケジュール	
[事前ガイダンス]	授業の全体概要の説明、注意事項等の確認
第1回	イントロダクション (授業内容、プレゼンテーションの手続き、活動報告書等の確認)
第2回	活動報告プレゼンテーション (1)
第3回	活動報告プレゼンテーション (2)
第4回	活動報告プレゼンテーション (3)
第5回	活動報告プレゼンテーション (4)
第6回	活動報告プレゼンテーション (5)
第7回	活動報告プレゼンテーション (6)
第8回	活動報告プレゼンテーション (7)
第9回	活動報告プレゼンテーション (8)
第10回	活動報告プレゼンテーション (9)
第11回	活動報告プレゼンテーション (10)
第12回	活動報告プレゼンテーション (11)
第13回	活動報告プレゼンテーション (12)
第14回	活動報告プレゼンテーション (13)
第15回	活動報告プレゼンテーション (14)
	活動報告書(最終レポート)提出 (当日の17:00締切)

\*その他活動報告などに関して相談したいことがある場合には、授業後に担当教員に声をかけるか、メールで連絡して下さい。